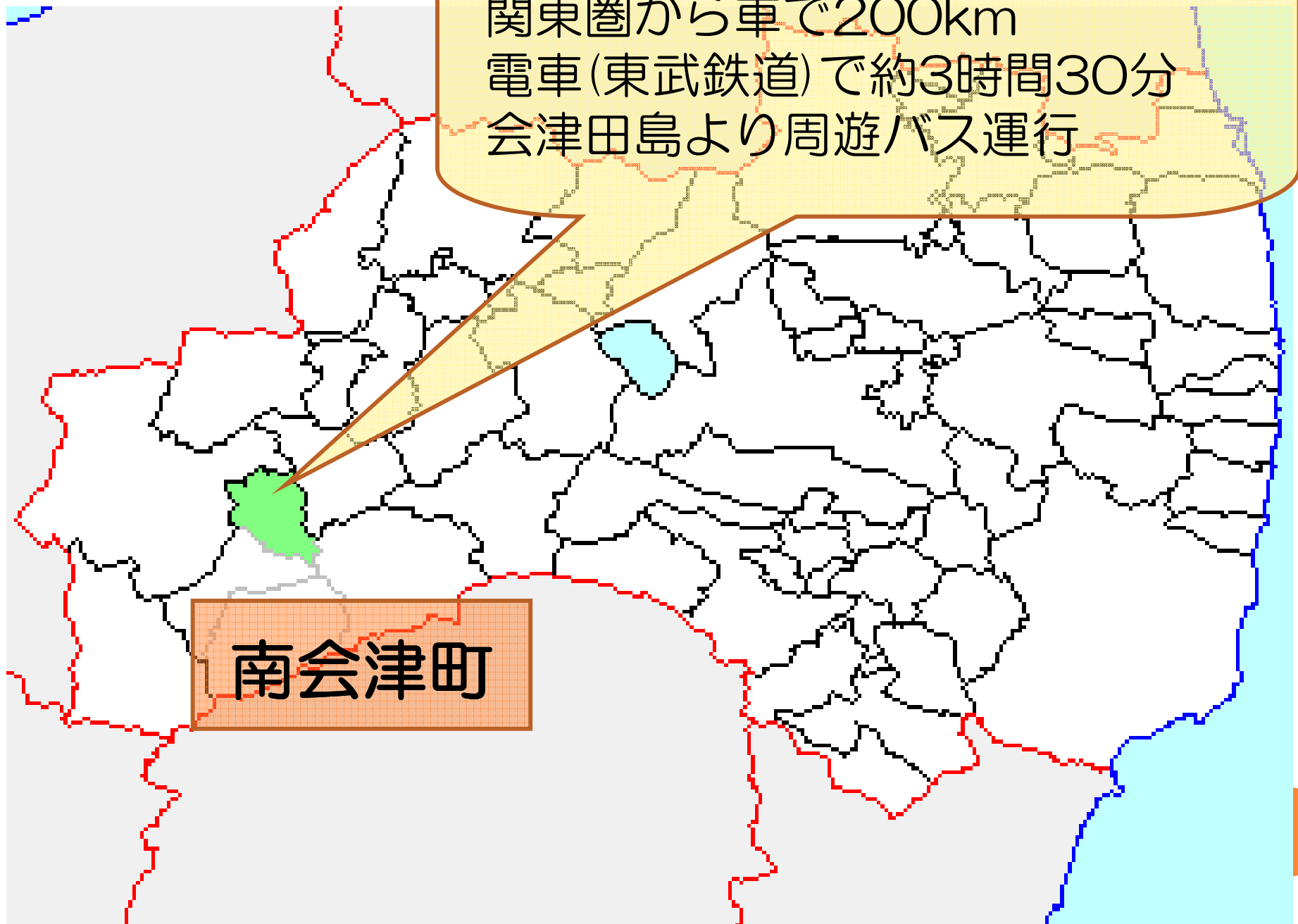


台板橋区活性化を目指した提案

福島大学西川ゼミ

台板橋区とは



関東圏から車で200km
電車(東武鉄道)で約3時間30分
会津田島より周遊バス運行

南会津町

提案

台板橋区の目標：世代間交流を通じた
地域活性化



①月田農園の利用

→地域密着型の自然体験学習

②伝統工芸・料理を広める

→台板橋区の文化のPR
アンテナショップ

月田農園の利用

○ 月田農園とは

ヒメサユリ栽培を中心とした農園

周辺の自然の手入れも行っている(月田さんの趣味)

都会の子供向けに「山の学校」をしていた

○ 月田農園の中心ターゲット

関東圏→星が綺麗に見える1番近い場所

小中学生→期間を絞りかつ団体で

普通のキャンプ場との違い→密着型の自然体験学習





月田農園運営組織

行政・中小企業団体
中央会の支援

- ・資本金等が必要なく、個人4人以上からつくれる
- ・地域振興やボランティア中心なので
融資や補助金を受けやすい

企業組合

専業スタッフ：地域のリーダー
町役場OB
従業スタッフ：地元の協力者

月田農園の
運営

伝統文化・料理

○現状の問題

認知度が低い

→台板橋区の施設で料理の提供はやっていない
後継者不足

○提案

郷土料理

→スキー場、食事処、宿泊施設での提供

伝統工芸品

→若年層向け製品の作成
総合学習で教える



郷土料理



そばやきもち



白和え



くじら汁

なんばんぜい



おひら



伝統文化

つる細工



布ぞうり



伝統文化・料理

○現状の問題

認知度が低い

→台板橋区の施設で料理の提供はやっていない
後継者不足

○提案

郷土料理

→スキー場、食事処、宿泊施設での提供

伝統工芸品

→若年層向け製品の作成
総合学習で教える





アンテナショップ

台板橋区にアンテナショップをつくる

伝統工芸の実演販売
郷土料理の提供
住民の憩いの場

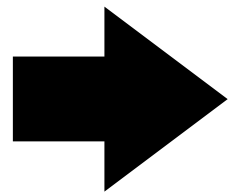
台板橋区の中心地に

アンテナショップのHPを作成

→各種情報を掲載

→広く人々に台板橋地区について知ってもらう。

⇒情報の集約場に



資金は町役場の協力
地域住民による運営が必要
(企業組合による運営)

公設民営

アンテナショップ

「桑折御蔵」の成功例

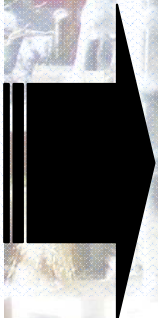
桑折町が改装資金を提供し、昔からあった蔵を改装

地元の人たちで運営

特産品の「だんご汁」と地元のお土産品を提供している

住民の憩いの場として機能している

TVや雑誌などで紹介され、知事も訪問



桑折町の例を参考に
台板橋区にもPR拠点を

今後の展望（第二段階）

- 一般客相手のグリーンツーリズム
天体観測やひめさゆり鑑賞会、天空米など
花見・鮎釣り・紅葉・おんべ(歳の神)
(一般の宿泊施設と連携・協力)
- アンテナショップを中心にPR活動
グリーンツーリズムの紹介や地元案内所等、総合
的な拠点に
→アンテナショップの拡充





御清聴ありがとうございました



台板橋区の現状 -伝統工芸-

布草履

- ・材料は、藁縄とシーツや着物の布
- ・値段1000円であまり売れない
- ・草履を作るのは冬場だけ
- ・作り方を知っているのは高齢者だけ
- ・一足あたり2時間かかる
- ・生産者は高齢者かつ兼業農家
- ・後継者不足

つる細工

- ・材料はフィリピンや中国から輸入した藤や藁
- ・一つの小さい籠を作るのに1時間
- ・作った籠は親戚にあげたり自分で使う
- ・籠しか作らない
- ・用途は飾り 例) 花や果物を盛るなど
- ・生産者は高齢者かつ兼業農家
- ・後継者不足

台板橋区（南郷）の現状 -スキー場-

会津高原南郷スキー場

- ・昨シーズンの来場者数51万人 ピークは一月
- ・スノーボーダーが多数を占め、30代が最も多い
- ・友人連れやカップルが多い
- ・来場者は宿泊施設に泊まらずに、車の中で寝る
- ・レストランメニューはトマトラーメン屋やロコモコ丼など全800円

会津高原だいくらスキー場

- ・昨シーズンの来場者数9万8千人
- ・家族連れが多い
- ・30代が最も多い
- ・レストランメニューはソースカツ丼や会津地鶏親子丼など全千円
- ・ピークは8月で目的はスキーではなく天体観測
- ・フィールドインふうりんしゃ楓林舎では地元のもののできる限り使っている

どちらからも県外から来る人のほうが多い





